



鈴木さんの案内で裏山に登った西銘大臣

# にしめ 西銘氏が大川小遺構訪問

## 現職復興大臣では初 遺族案内 裏山に登る

先月就任した西銘恒三郎復興大臣は17日、石巻地方を視察し、現職の復興大臣では初めて児童教職員計84人が震災の津波で犠牲となった旧石巻市立大川小学校を公式訪問した。献花の後、遺族の話聞き、当時の児童らが避難することができなかった裏山にも登った。

大川小は震災遺構として周辺整備され、被災校舎は手を加えず保存されている。西銘大臣は大川伝承の会共同代表で、遺族の鈴木典行さんの案内で校舎を外部から見学。鈴木さんが「津波の威力を伝える校舎であり、大事にしたい。直してくれ」とは言わないが、これ以上壊れないようにしてほしい」などと訴え、西銘大臣はうなずき返した。

児童が校庭にとどまらず、登っていれば助かっていたであろう裏山が紹介されると、「行ってみたい」と西銘大臣。スーツと革靴のまま数分で登り、上から津波到達地点の標識や校舎を眺めて同時に思いをはせた。展示施設の大川震災伝承館では、津波が襲来したとみられる時刻を指した時計や写真パネルで震災前後の大川地区について説明を受けた。

西銘大臣が石巻市内を訪れるのは、岸田文雄首相の視察に随行した先月16日以来。首長への就任あいさつを兼ねており、大川小の視察には齋藤正美市長が同行した。石巻市で復興担当審議監を務めた阪井聡至氏が、大臣秘書官として再訪した。

同日は女川町役場前と東松島市野蒜の復興祈念公園でも献花した。

【熊谷利勝】